

## 九重山

### 1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは 1 (静穏な火山活動)でした。

### 2 概況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態でした。

### 3 噴気地帯の状況(図 4 , 図 5 )

- ・各領域の噴気活動に大きな変化は見られませんでした。
- ・赤外熱映像分布観測によると、A~D 領域の観測値は前回(2005 年 3 月)と比較して大きな変化はありませんが、前々回(2004 年 5 月)と比較すると、熱活動は低下傾向になっています。

### 4 地磁気全磁力観測の結果(図 6 )

24 から 28 日に調査観測を実施しました

- ・地磁気全磁力観測では MS1 ~ 3 観測点で観測値が増加しています。また、D 領域から北側にある MN1 ~ 5 については、台風による地形変化(崩落等)により、影響をうけている事が考えられます。

熱映像は赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

---

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、大分県、防災科学技術研究所のデータ等も使用しております。

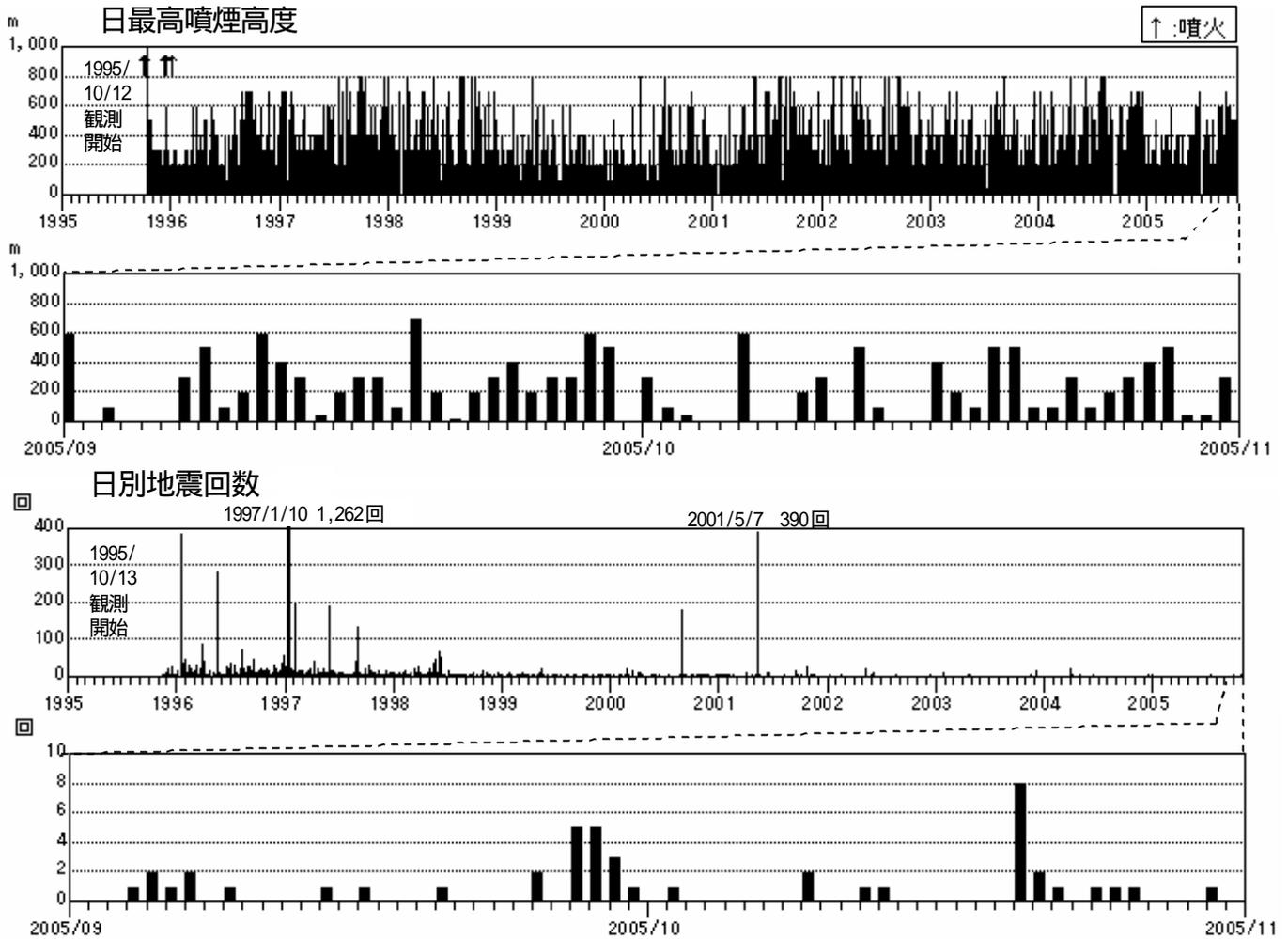


図1 火山活動経過図(1995年10月12日~2005年10月31日)

2005年10月の噴煙は、白色・少量、噴煙高度の最高は600m(9月:700m)で、特に異常は認められませんでした。

2005年10月の地震回数は20回(9月:50回)でした。火山性微動の発生はありませんでした。

今回の解説資料から、地震回数は久住山付近で発生したと思われる、火山性地震を計数しており、前月の回数より変更しています。

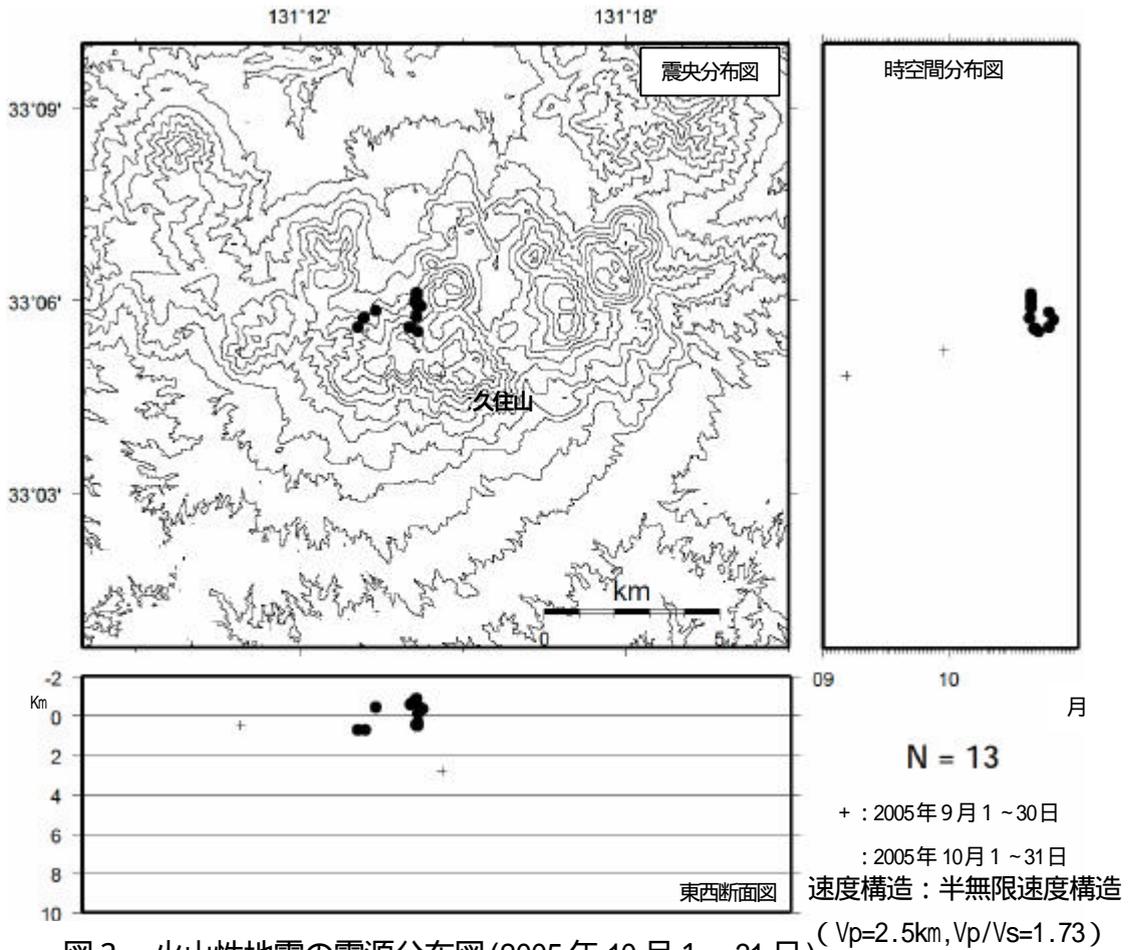


図2 火山性地震の震源分布図(2005年10月1~31日)

山体付近に震源が求まった地震は13個発生しました。  
本資料は、気象庁および大分県のデータを用いて作成しています。

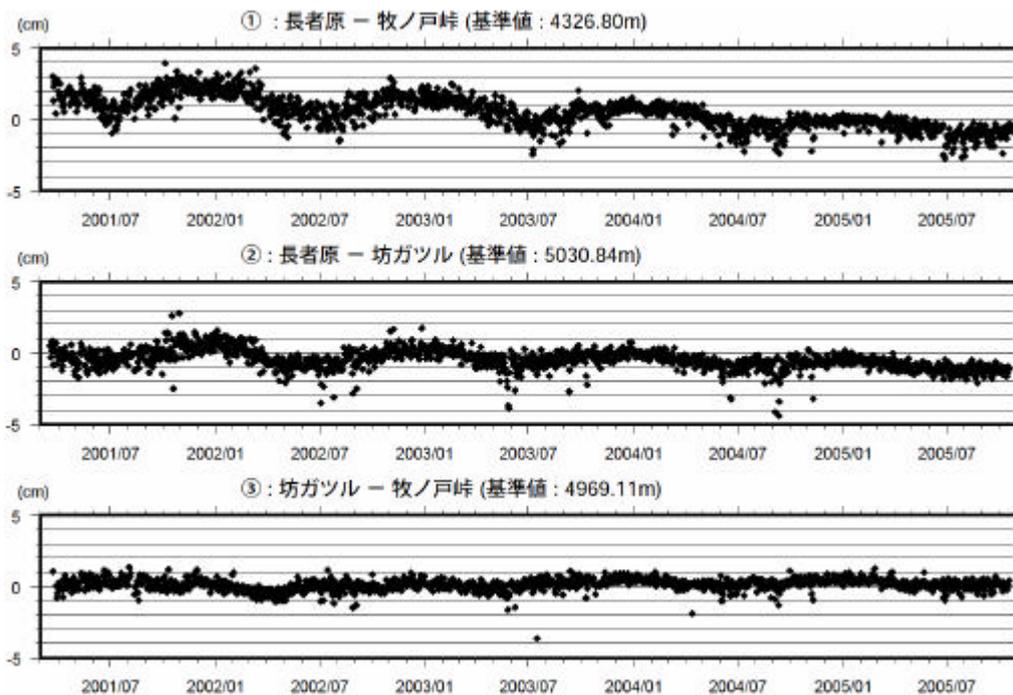
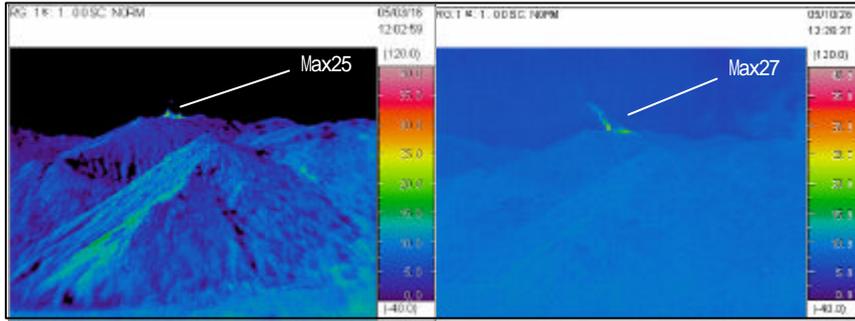


図3 GPSによる基線長変化図(2001年3月1日~2005年10月31日)  
火山活動に起因する変化はありませんでした。



D領域(火口列)を北千里浜観測点1から撮影  
 b火口列からはごく少量の白色の噴気があった。  
 噴気の色：白色、高さ 20m で消散。  
 熱映像の中ではb火口列の温度変化に大きな変化はない。

2005年10月26日 北千里浜観測点2 可視画像



2005年3月16日 熱映像

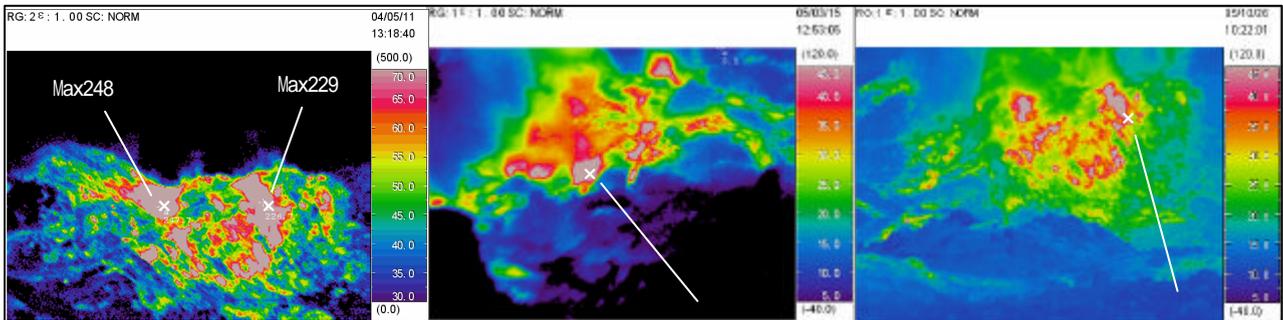
2005年10月26日 熱映像

図4 北千里浜観測点1の可視画像と熱映像



C領域定点から硫黄山を撮影  
 C領域からはごく少量の白色の噴気があった。  
 噴気の色：白色、高さ 300m で消散。  
 熱映像では2004年5月の観測では200以上の高温領域を観測しているが、2005年3月から熱活動の低下がみられる。

2005年10月26日 C領域定点可視画像



2004年5月11日 熱映像

2005年3月15日 熱映像

2005年10月26日 熱映像

図5 C領域定点の可視画像と熱映像

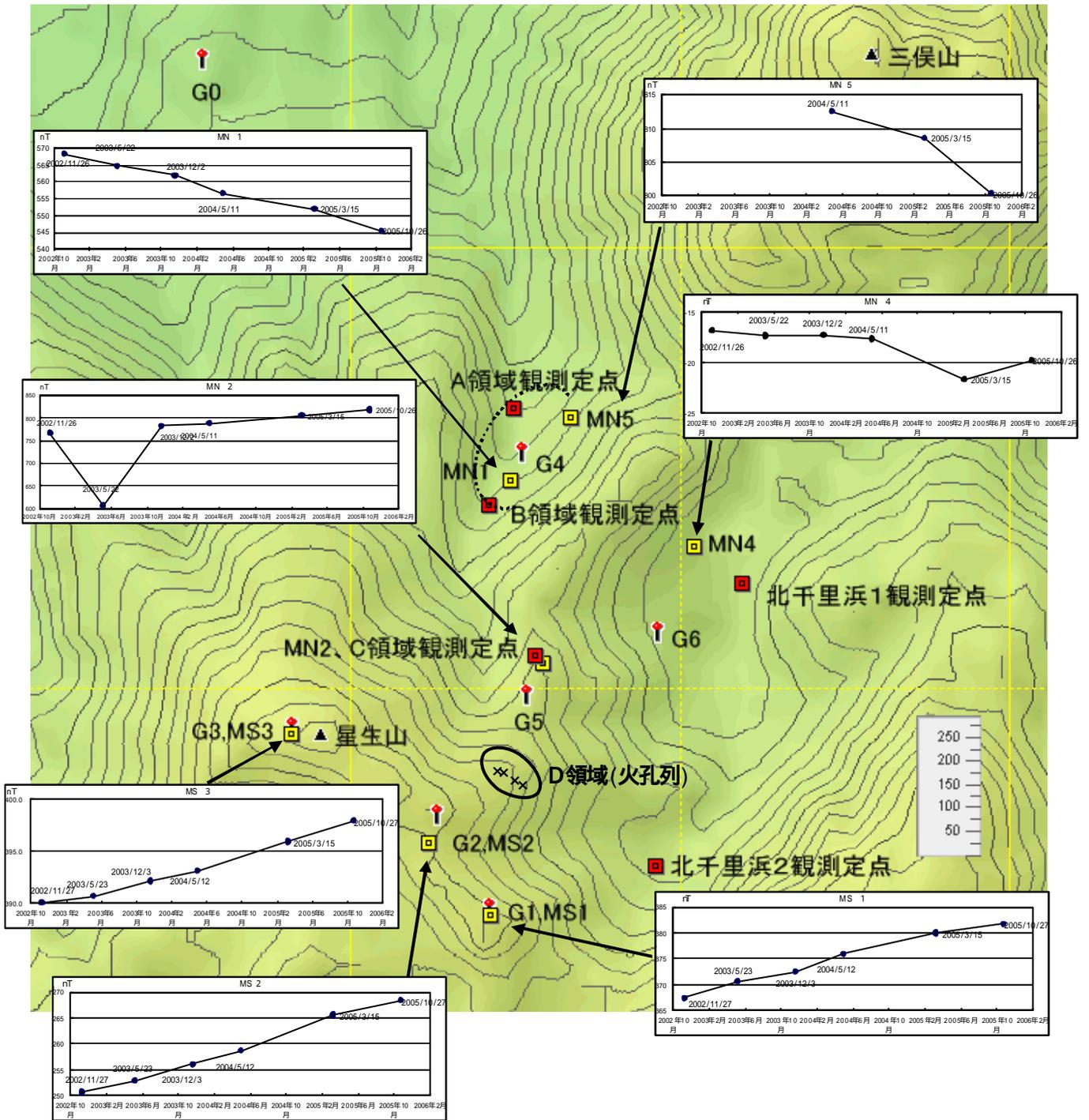
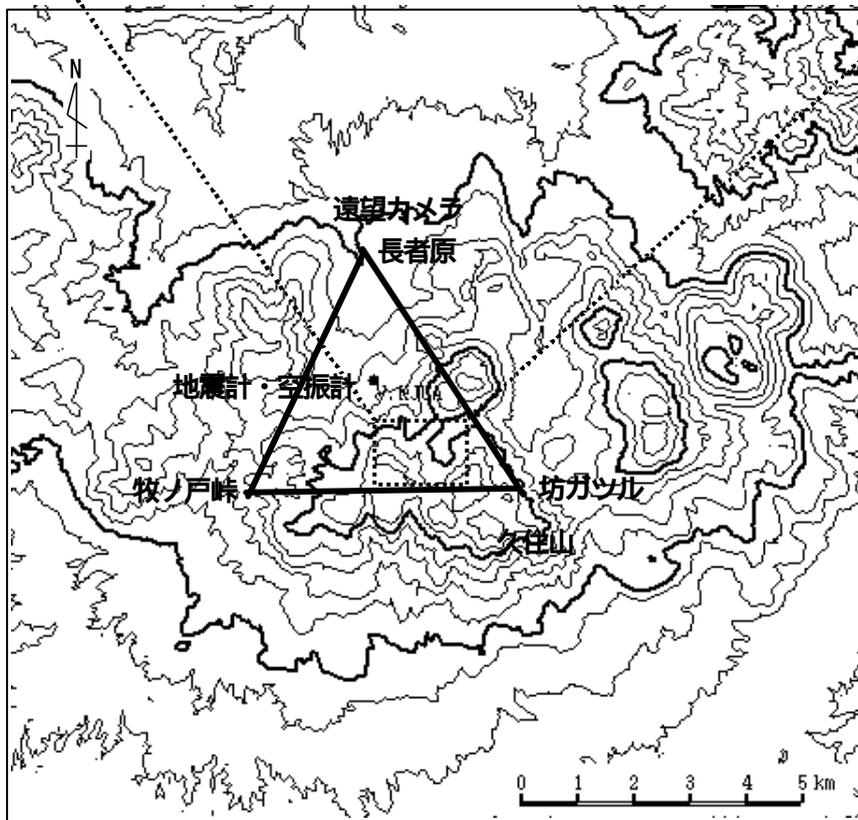
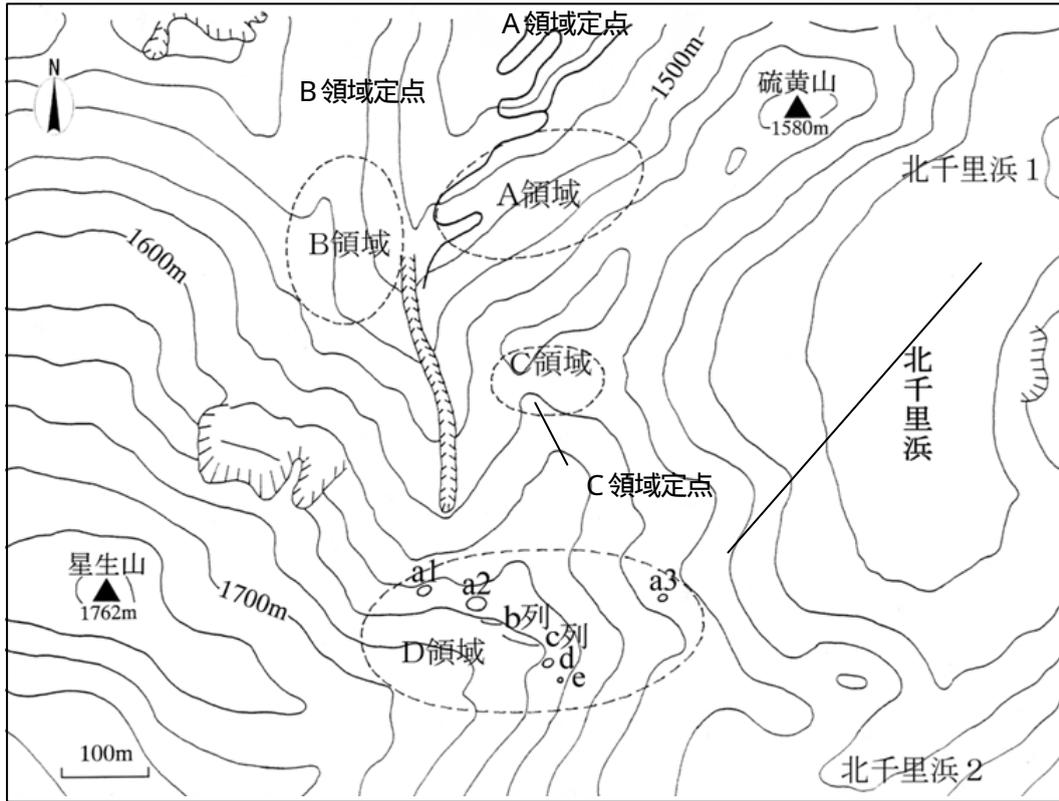


図6 地磁気全磁力繰り返し観測結果  
 MN1, 4, 5は地形変化により影響を受けていると考えられます。  
 図中⊗枠内は斜面の崩落が著しい領域。



- 気象庁観測点
- 遠望カメラ 1点(長者原)
  - 地震計 1点( )
  - 空振計 1点( )
  - GPS 3点( )

図7 観測点位置図